

県央地域の一部において発生が確認されました

ナガエツルノゲイトウは早期発見・駆除が重要です

刈払い作業は生息域が拡大するおそれがあります。

圃場や畦畔で発生が確認された場合は、除草剤等で防除してください。

ナガエツルノゲイトウは、茎や根などの小さい断片でも再生し、すぐに繁茂してしまいます。水路、水田畦畔、畑地や法面の陸地でも生育することができ、水田に侵入されると、稲の生育阻害や圃場における作業効率の低下等を引き起こすおそれがあります。



畦畔での発生



排水路での繁茂



水田給水栓付近での発生

水田や畦畔でふやさない<発見したらすぐに対応！！>

【抜き取り・剥ぎ取りによる駆除】

・植物の断片が残らないように駆除し、ブルーシートの上に置くな
どして枯らしてから自治体のごみ処理方法に従って処理。

・**発生場所では刈払機等は使わない！** 小さな茎や根の断片から再生し、繁茂の原因となります。

【除草剤による防除】

・**本田・畦畔での防除は、下記の成分を含む除草剤が有効！**



本田・畦畔防除に有効な除草剤

作物名	使用場所 ・ 使用時期	成分名等
移植水稻	本田中後期	フロルピラウキシフェンベンジルを有効成分に含む除草剤 (商品名：ロイヤント乳剤、ウィードコア1キロ粒剤等) (収穫45日前まで) (収穫60日前まで)
水田作物	畦畔 (通年)	非選択性茎葉処理剤 (グリホサートカリウム塩液剤等) (商品名：ラウンドアップマックスロード等)
水田作物	刈取後～本田耕起前 (雑草生育期)	非選択性茎葉処理剤 (グリホサートカリウム塩液剤等) (商品名：ラウンドアップマックスロード等)

※中後期剤の使用にあたっては、収穫前日数に注意してください。

※表中の中後期剤はナガエツルノゲイトウが大きくなると効果が低くなることが報告されています。
雑草の生育程度を確認し使用を判断してください。

※資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する方は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。また、河川敷や水路など水系に流れ出るおそれのある場所では使用しないでください。

※れんこん等の生育を阻害するおそれがあるので、れんこん等の隣接田で使用する場合は、十分注意してください。

水田に入れない

- ・給水栓の口に種もみネット等を被せ、用水路等を通じて断片が水田に入るのを防ぎます。
- ・トラクター等の農機に付着した茎断片を拡散させないように、発生のない水田から先に耕うんし、農機はよく洗います。



給水栓へのネット設置例

ナガエツルノゲイトウの見分け方

葉の特徴

- ・節から1対の葉がつく
- ・葉の先がややとがる



花の特徴

- ・花柄は葉のわきから伸びる
- ・花柄の長さは約1～4cm



茎の特徴

- ・茎は空洞(ストロー状)
- ・節に短い毛が生える
- ・茎の表面はなめらか



※ナガエツルノゲイトウは特定外来生物に指定されているため、
生きたままの保管・運搬等は法律により禁止されています。

○ナガエツルノゲイトウの判別や防除方法に関するお問い合わせ先

県央農林事務所 経営・普及部門

電話 029-227-1521

(水戸市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、東海村)

笠間地域農業改良普及センター

電話 0296-72-0701 (笠間市、城里町)